

令和3年度

赤穂市観光客動態調査報告書



雄鷹台山

(一社) あこう魅力発信基地・赤穂市

はじめに

この調査は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの1年間に赤穂市を訪れた観光客を把握し、今後の宣伝活動や受入体制整備等を推進するための資料として集計したものである。

各項目の数値は、観光施設や宿泊施設などからの報告をもとに集計したものであり、把握の出来ないところ（無人で解放されている施設：海岸・トレッキングなど）については含んでいない。また、1回の旅行過程で複数の観光施設に入込んだ観光客については、延べ人数で計上している。

目次

年度別の赤穂市観光客入込数調査

1 形態別入込数	2
2 目的別入込数	4
3 観光客入込動向の分析	6

参考資料

令和3年度兵庫県観光客動態調査結果	13
-------------------------	----

年度別の赤穂市観光客入込数調査

1 形態別入込数

項目		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		入込数		入込数		入込数		入込数	
		千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比
総入込数		1,487	100%	1,503	100%	1,500	100%	1,542	100%
日帰り ・ 宿泊 別	日帰り客	1,227	83%	1,243	83%	1,210	81%	1,226	80%
	宿泊客	260	17%	260	17%	290	19%	316	20%
	宿泊客のうち施設別								
	ホテル・旅館	216	83%	216	83%	244	84%	266	84%
	公的宿泊施設	12	5%	11	4%	12	4%	13	4%
	寮・保養所	1	1%	1	1%	1	1%	1	1%
	その他（キャンプ等）	31	12%	32	12%	33	11%	36	11%
居住地別	県外客	550	37%	571	38%	600	40%	632	41%
	県内客	937	63%	932	62%	900	60%	910	59%
	（県内客のうち市民）	327	—	316	—	315	—	324	—
利用交通機関別	J R	223	15%	226	15%	210	14%	231	15%
	貸切バス	75	5%	90	6%	90	6%	93	6%
	自家用車	1,100	74%	1,097	73%	1,125	75%	1,141	74%
	その他（タクシー等）	89	6%	90	6%	75	5%	77	5%

* 居住地別及び利用交通機関別の項目中、観光客の入込数及び比率は調査回答の内容による推定値である。

平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		前年度
入込数		入込数		入込数		入込数		入込数		入込数		対比
千人	%	千人	%	千人	%	千人	%	千人	%	千人	%	(3/2)
入込数	全体比	入込数	全体比	入込数	全体比	入込数	全体比	入込数	全体比	入込数	全体比	%
1,462	100%	1,489	100%	1,413	100%	1,500	100%	736	100%	993	100%	134.9%
1,153	79%	1,194	80%	1,135	80%	1,220	81%	539	73%	758	76%	140.6%
309	21%	295	20%	278	20%	280	19%	197	27%	235	24%	119.3%
259	84%	247	84%	242	87%	236	84%	162	82%	186	79%	114.8%
13	4%	12	4%	1	1%	10	4%	7	4%	9	4%	128.6%
0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	—
37	12%	36	12%	35	12%	34	12%	28	14%	40	17%	142.9%
629	43%	655	44%	650	46%	675	45%	327	44%	443	45%	135.5%
833	57%	834	56%	763	54%	825	55%	409	56%	550	55%	134.5%
278	—	268	—	240	—	225	—	119	—	149	—	125.2%
205	14%	208	14%	198	14%	225	15%	110	15%	143	14%	130.0%
88	6%	89	6%	99	7%	90	6%	37	5%	46	5%	124.3%
1,111	76%	1,132	76%	1,074	76%	1,155	77%	567	77%	783	79%	138.1%
58	4%	60	4%	42	3%	30	2%	22	3%	21	2%	95.5%

2 目的別入込数

項目	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	入込数		入込数		入込数		入込数	
	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比
総入込数	1,487	100%	1,503	100%	1,500	100%	1,542	100%
自然鑑賞(御崎ほか)	34	2%	29	2%	29	2%	27	2%
社寺参拝(花岳寺・大石神社ほか)	84	6%	79	5%	74	5%	77	5%
まつり(義士祭ほか)	182	12%	195	13%	182	12%	135	9%
ハイキング・キャンプ(御崎)	30	2%	31	2%	31	2%	34	2%
釣り・潮干狩り	35	2%	32	2%	30	2%	32	2%
施設見学	130	9%	131	9%	129	9%	132	8%
ゴルフ・テニス	92	6%	90	6%	93	6%	96	6%
温泉	257	17%	251	17%	246	16%	272	18%
公園・遊園地	470	32%	489	32%	499	33%	558	36%
ツーリズム施設	173	12%	176	12%	187	13%	179	12%

平成28年3月	赤穂観光アクションプログラム(平成28～30年度)策定
平成28年3月	坂越大橋供用開始
平成28年8月	赤穂市周辺の特異な地質構造を「赤穂コールドロン」と命名((国研)産業技術総合研究所)
平成28年12月、29年3月	赤穂素・流・人(ソ・ル・ト)プロモーション推進事業 観光アプリ整備(12月)、観光PV制作(3月)
平成29年10月	JR有年駅橋上駅舎全面供用開始
平成30年5月	日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」追加認定

平成28年度 入込数		平成29年度 入込数		平成30年度 入込数		令和元年度 入込数		令和2年度 入込数		令和3年度 入込数		前年度 対比
千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	千人 入込数	% 全体比	(3/2) %
1,462	100%	1,489	100%	1,413	100%	1,500	100%	736	100%	993	100%	134.9%
23	2%	20	1%	18	1%	21	1%	7	1%	0	0%	0.0%
65	4%	57	4%	53	4%	61	4%	21	3%	18	2%	85.7%
134	9%	154	10%	175	12%	239	16%	10	1%	10	1%	100.0%
35	2%	46	3%	42	3%	33	2%	26	3%	40	4%	153.8%
28	2%	26	2%	19	1%	13	1%	13	2%	13	1%	100.0%
129	9%	138	9%	121	9%	131	9%	68	9%	76	8%	111.8%
99	7%	101	7%	87	6%	89	6%	87	12%	96	10%	110.3%
258	18%	257	17%	252	18%	228	15%	111	15%	157	16%	141.4%
508	35%	518	35%	465	33%	527	35%	337	46%	500	50%	148.4%
183	13%	172	12%	181	13%	158	11%	56	8%	83	8%	148.2%

平成31年3月	赤穂観光アクションプログラム(平成31～33年度)策定
令和元年5月	日本遺産『「日本第一」の塩を産したまち播州赤穂』認定
令和3年3月	「赤穂スイーツブック」作成
令和3年10月	赤穂版DMOの母体となる「(一社)あこう魅力発信基地」設立
令和4年1月	「赤穂スイーツブックⅡ」作成
令和4年3月	「赤穂市 観光・移住定住戦略(2022-2026)」策定

3 観光客入込動向の分析

総入込数

令和3年度の赤穂市への観光入込客数は、令和2年度に対して134.9%、人数にして257千人増の993千人となった。

宿泊・日帰りの別では、宿泊客が前年度比119.3%、人数にして38千人の増、日帰り客が前年度比140.6%、人数にして219千人の増となり、いずれも前年度を上回る結果となったが、コロナ以前の数値と比較すると未だ大きな隔りがある。

令和3年度も複数回の「まん延防止等重点措置」「緊急事態措置」が発出されながらも、前年度の数値を上回ることとなったのは、単に自粛疲れが理由ではなく、ワクチン接種率が上昇したことに加え、「ウィズコロナ」や「新しい日常（ニューノーマル）」といった考え方が浸透してきた結果であると考えられる。

形態別にみた入込動向

- (1) 宿泊客が前年度比119.3%、人数にして38千人の増、日帰り客が前年度比140.6%、人数にして219千人の増となった。(表1参照)
- (2) 月別入込数を見ると、6月、8月、9月では僅かに前年度を下回っている。これは「まん延防止等重点措置」と「緊急事態措置」の発出の影響によるものと推測される。季節毎で見た場合、全ての季節で前年度を上回る入込があったが、特に春と冬での増加が顕著である。(表2・3参照)
- (3) 利用交通機関別では、自家用車を利用した観光客が783千人(前年度比138.1%)で全体の約79%と最も多く、次いでJRが143千人(前年度比130.0%)、貸切バスが46千人(前年度比124.3%)、その他(タクシー等)が21千人(前年度比95.5%)となっている。自家用車利用の比率が最も高いという状況は従前のおりであるが、JRや貸切バス利用の伸び率が、自家用車に比べて低いのは、コロナの影響により乗り合いとなる状況を避けた結果と考えられる。(表4参照)

目的別にみた入込動向

- (1) 鑑賞型入込数は、「自然鑑賞」「社寺参拝」において前年度を下回ったほか、「まつり」「施設見学」も大きな伸びが無く、結果として全体で2千人の減少となった。(表5参照)
- (2) スポーツ型入込数は、「ハイキング・キャンプ」の入込数が前年度比153.8%、人数にして14千人の増加となっており、コロナ禍におけるアウトドア志向の高さ

が伺える。「ゴルフ・テニス」の入込数は前年度比110.3%、人数にして9千人の増加となった。(表5参照)

(3) 行楽型入込数では、「温泉」の入込数が前年度比141.4%、人数にして46千人の増加、「公園・遊園地」の入込数が前年度比148.4%、人数にして163千人の増加となっており、前年度の落ち込み幅が大きかった分、伸び率も高くなっている。(表5参照)

(4) 体験型入込数は、「ツーリズム施設」の入込数が前年度比148.2%、人数にして27千人の増加となった。(表5参照)

(5) 目的別入込数を全体比率から見ると比率の大きなものから順に、公園・遊園地500千人(50%)、温泉157千人(16%)、ゴルフ・テニス96千人(10%)、ツーリズム施設83千人(8%)となっており、順位に大きな変動は無いが、構成比としては公園・遊園地の比率が前年度に比べて4ポイント上昇している。(表5参照)

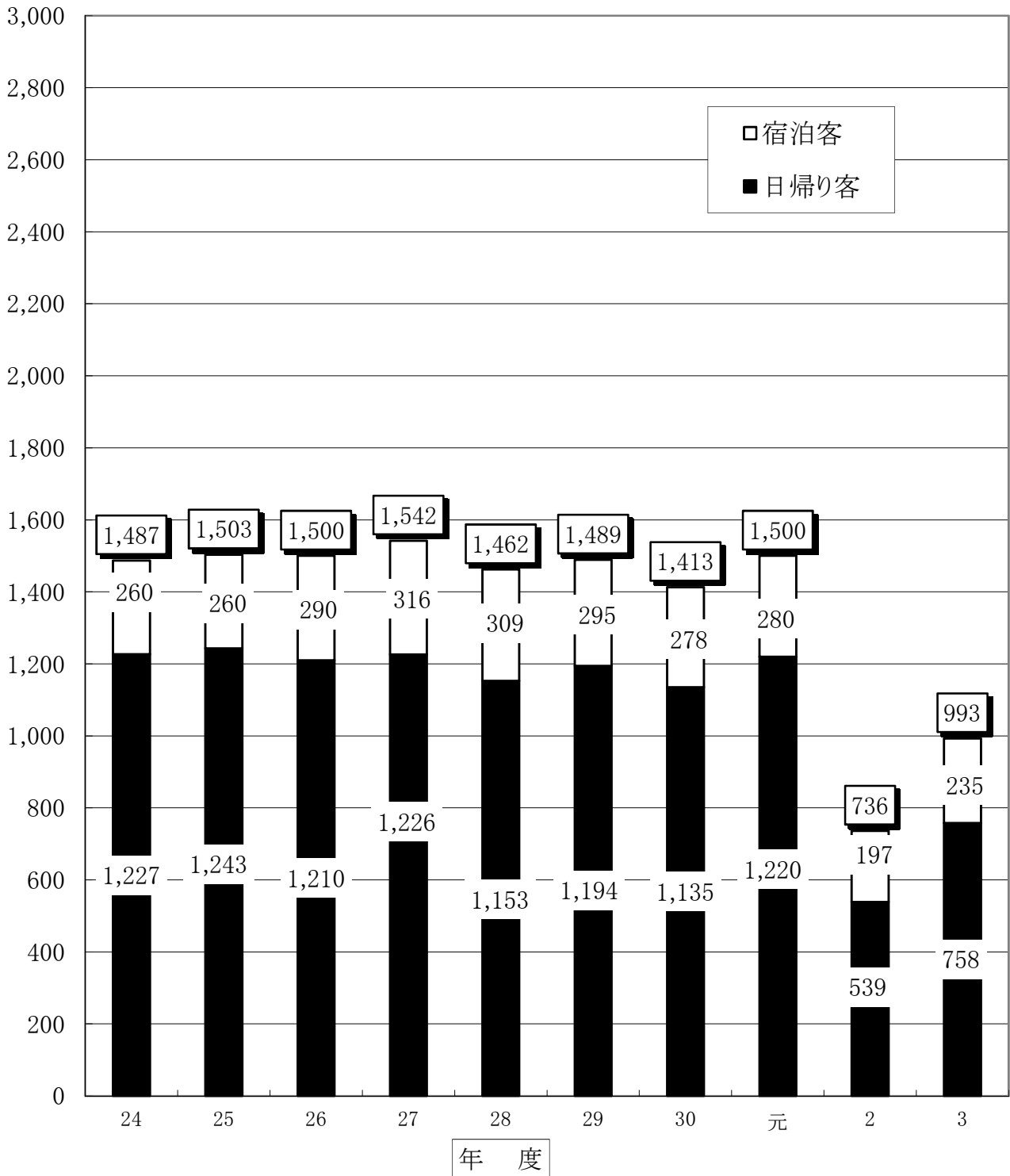
【参考】「まん延防止等重点措置」「緊急事態措置」の状況

令和2年	4月	7日	～	5月21日	緊急事態措置
令和3年	1月	14日	～	2月28日	緊急事態措置
令和3年	4月	5日	～	4月24日	まん延防止等重点措置
令和3年	4月	25日	～	6月20日	緊急事態措置
令和3年	6月	21日	～	7月11日	まん延防止等重点措置
令和3年	8月	2日	～	8月19日	まん延防止等重点措置
令和3年	8月	20日	～	9月30日	緊急事態措置
令和4年	1月	27日	～	3月21日	まん延防止等重点措置

〈表1〉

人数(千人)

観光客総入込数の年次推移

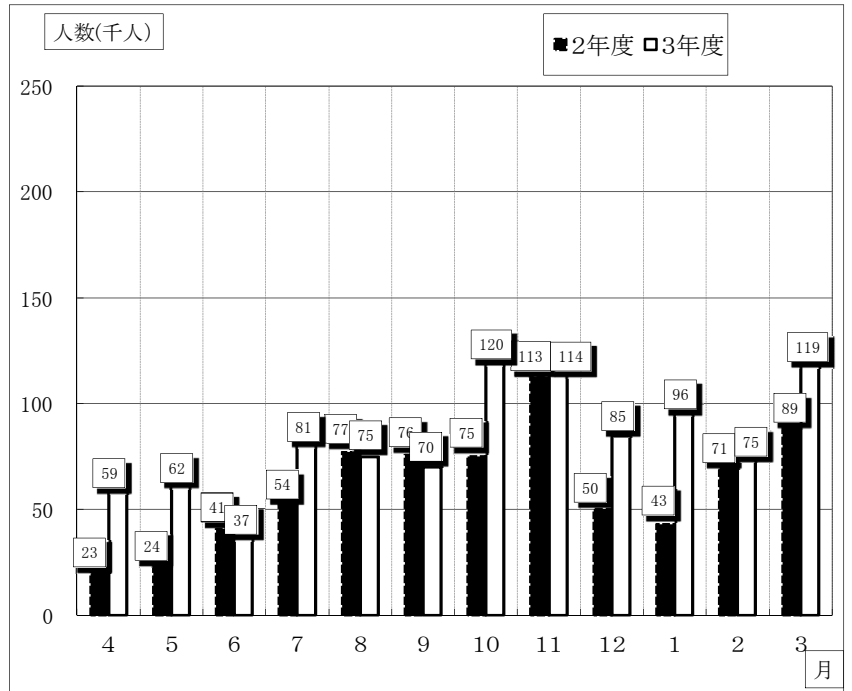


<表2>

月 別 入 込 数

(千人)

月	2年度	3年度	増減	対前年比
4	23	59	36	256.5%
5	24	62	38	258.3%
6	41	37	△ 4	90.2%
7	54	81	27	150.0%
8	77	75	△ 2	97.4%
9	76	70	△ 6	92.1%
10	75	120	45	160.0%
11	113	114	1	100.9%
12	50	85	35	170.0%
1	43	96	53	223.3%
2	71	75	4	105.6%
3	89	119	30	133.7%
合 計	736	993	257	134.9%

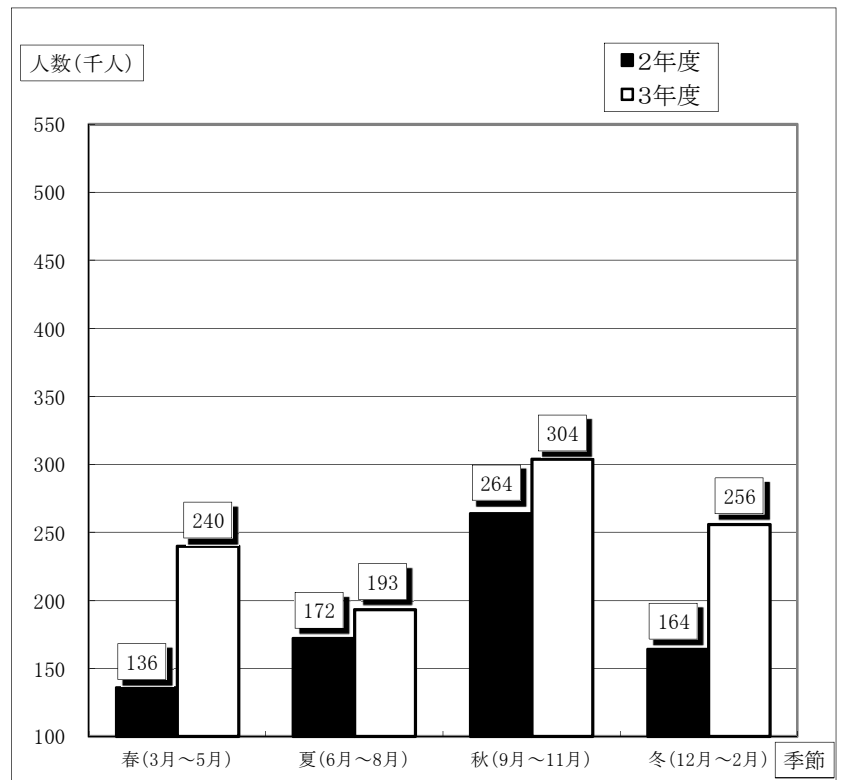


<表3>

季 節 別 入 込 数

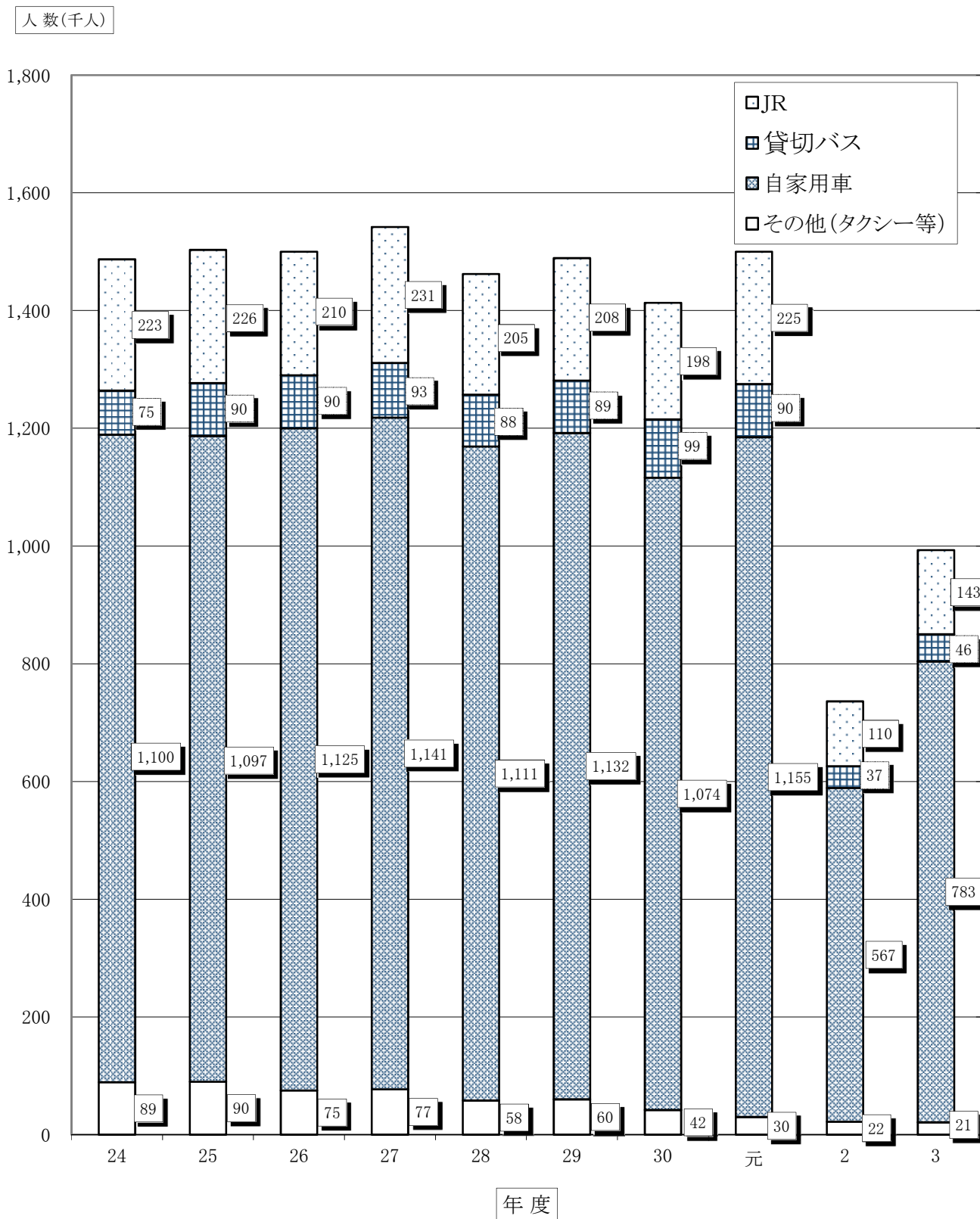
(千人)

季節	2年度	3年度	増減	対前年比
春(3月～5月)	136	240	104	176.5%
夏(6月～8月)	172	193	21	112.2%
秋(9月～11月)	264	304	40	115.2%
冬(12月～2月)	164	256	92	156.1%
合 計	736	993	257	134.9%



〈表4〉

利用交通機関別入込数

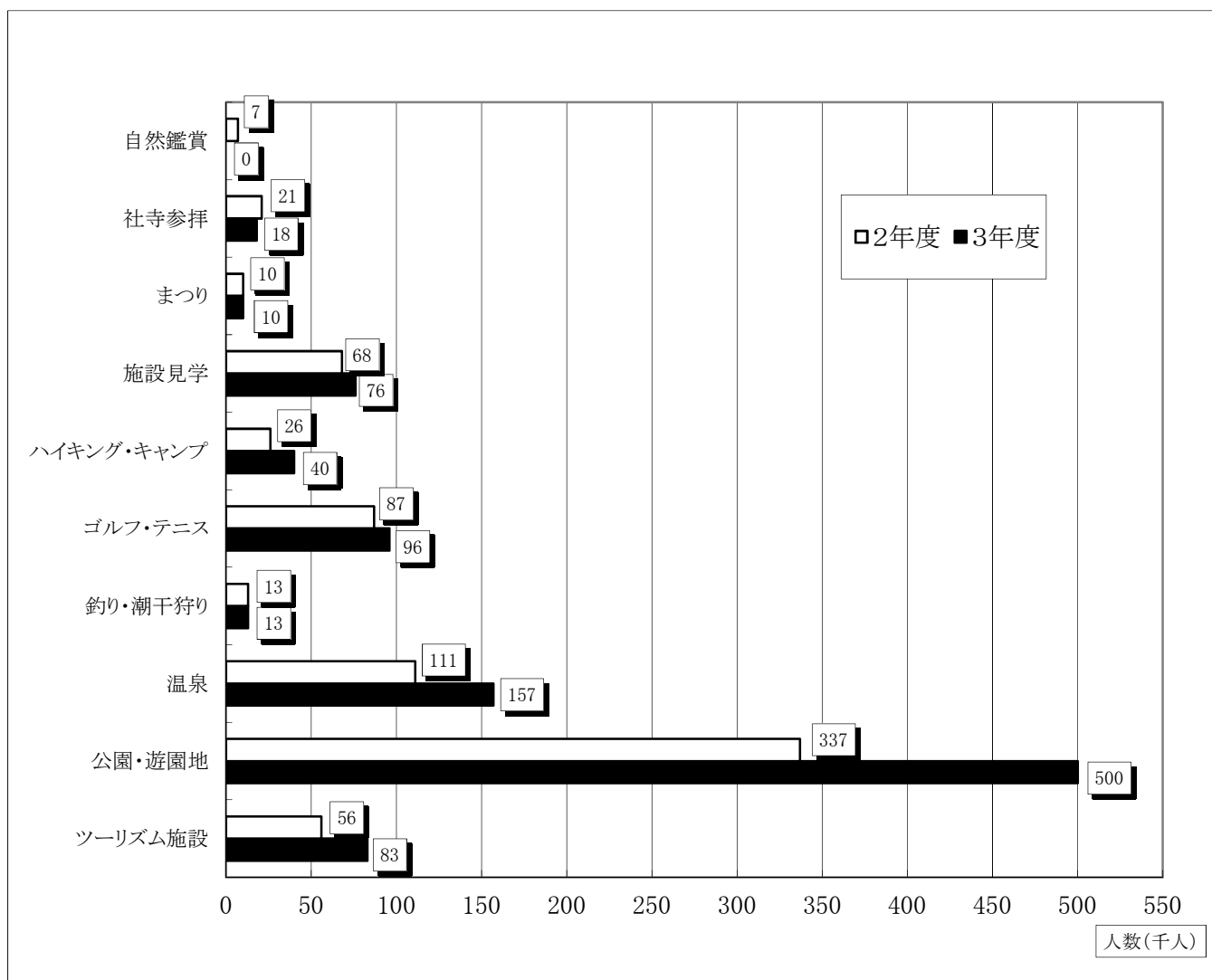


〈表5〉

目的別入込数

(千人・%)

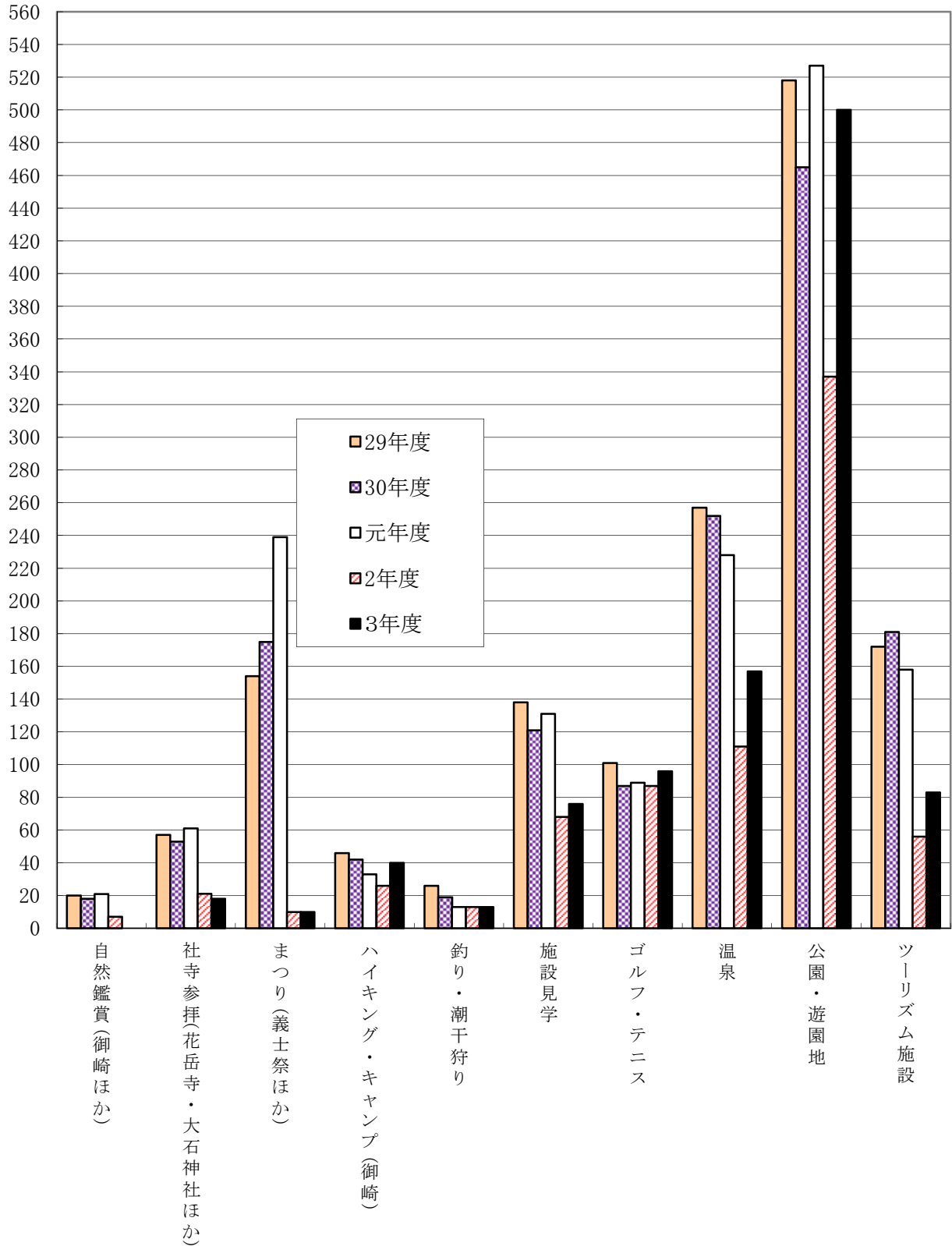
区分	内容	2年度		3年度		増減	対前年度比
		入込数	構成比	入込数	構成比		
鑑賞型	自然鑑賞	7	1%	0	0%	△7	0.0%
	社寺参拝	21	3%	18	2%	△3	85.7%
	まつり	10	1%	10	1%	0	100.0%
	施設見学	68	9%	76	8%	8	111.8%
小計		106	14%	104	10%	△2	98.1%
スポーツ型	ハイキング・キャンプ	26	4%	40	4%	14	153.8%
	ゴルフ・テニス	87	12%	96	10%	9	110.3%
小計		113	15%	136	14%	23	120.4%
行楽型	釣り・潮干狩り	13	2%	13	1%	0	100.0%
	温泉	111	15%	157	16%	46	141.4%
	公園・遊園地	337	46%	500	50%	163	148.4%
小計		461	63%	670	67%	209	145.3%
体験型	ツーリズム施設	56	8%	83	8%	27	148.2%
合	計	736	100%	993	100%	257	134.9%



〈表6〉

最近5年間の目的別入込数

人数(千人)



令和3年度兵庫県観光客動態調査結果（速報）

1 観光入込客数

令和3年度の観光入込客数は、「ひょうごを旅しようキャンペーン」等の需要喚起策を反映し、前年度を1,041万人上回る8,566万人(+13.8%)となった。

〔参考：調査対象〕

- ・調査対象期間 令和3年4月～令和4年3月
- ・調査対象基準 年間入込客数10,000人以上もしくは特定月5,000人以上の施設等
- ・調査対象地点数 約1,200地点

(1) 地域別の状況について

令和2年度に続き、新型コロナウイルス感染症による人流抑制の影響があったものの、「ひょうごを旅しようキャンペーン」等の需要喚起策等の効果で、全ての地域で前年度より増加となった。

一方で、令和元年度の水準には届いていないものの、丹波、淡路、北播磨では令和元年度比で約80%まで回復するなど地域毎で回復傾向に差が見られる結果となった。

(単位：千人)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	全県
令和3年度	14,180	9,493	14,961	6,232	11,396	5,412	4,277	6,056	4,069	9,588	85,663
令和2年度	12,543	7,895	12,401	6,151	10,809	4,300	3,697	5,779	3,634	8,043	75,254
令和元年度	35,420	14,727	18,935	9,848	13,941	10,366	6,187	9,409	5,072	12,603	136,508
対前年度比	1,637 +13.1%	1,598 +20.2%	2,560 +20.6%	81 +1.3%	587 +5.4%	1,112 +25.9%	580 +15.7%	277 +4.8%	435 +12.0%	1,545 +19.2%	10,409 +13.8%
対令和元年度比	▲21,240 ▲60.0%	▲5,234 ▲35.5%	▲3,974 ▲21.0%	▲3,616 ▲36.7%	▲2,545 ▲18.3%	▲4,954 ▲47.8%	▲1,910 ▲30.9%	▲3,353 ▲35.6%	▲1,003 ▲19.8%	▲3,015 ▲23.9%	▲50,845 ▲37.2%

【増減要因】 感染防止対策と社会経済活動の両立が図られ、多くの施設で前年から利用客が回復

地域	対前年度比	主な増減要因
神戸	+163.7万人 (+13.1%)	・王子動物園や風見鶏の館等多くの施設において利用客が回復した影響により大幅に増加。
阪神南	+159.8万人 (+20.2%)	・阪神甲子園球場での観客受け入れ再開や、西宮神社等多くの施設で利用客が回復した影響により大幅に増加。
阪神北	+256.0万人 (+20.6%)	・宝塚北サービスエリアや有馬富士公園等多くの施設において利用客が回復した影響により大幅に増加。
東播磨	+8.1万人 (+1.3%)	・明石公園や高砂市総合運動公園等多くの施設において利用客が回復したため増加。
北播磨	+58.7万人 (+5.4%)	・三木総合防災公園や三木山森林公園等の屋外施設中心に利用客が回復した影響により増加。
中播磨	+111.2万人 (+25.9%)	・姫路城や好古園等多くの施設において利用客が回復したことや、アクリエひめじ開業の影響により大幅に増加。
西播磨	+58.0万人 (+15.7%)	・赤穂海浜公園等の屋外施設や、赤穂温泉の利用客が回復した影響により増加。継続的な積雪に恵まれたため、ちくさ高原スキー場等のスキー場も増加。
但馬	+27.7万人 (+4.8%)	・城崎温泉等多くの施設で利用客が回復した影響により増加。安定的な積雪に恵まれたため、神鍋高原等のスキー場も増加。
丹波	+43.5万人 (+12.0%)	・丹波年輪の里でのイベント開催や、兵庫陶芸美術館等多くの施設において利用客が回復した影響により増加。
淡路	154.5万人 (+19.2%)	・県立淡路島公園等の屋外施設や、洲本温泉の利用客が回復した影響により大幅に増加。

(2) 日帰・宿泊別の入込状況

日帰客が7,793万人(+13.4%、全体比91.0%)、宿泊客が773万人(+18.6%、全体比9.0%)となり、全ての地域で日帰客、宿泊客ともに増加となった。

(単位:千人)

区 分	令和3年度		令和2年度		令和元年度		対前年度 増減	対前年度 比	対令和元年度 増減	対令和元年度 比	
	入込客数	全体比	入込客数	全体比	入込客数	全体比					
全 県	総入込数	85,663	100.0%	75,254	100.0%	136,508	100.0%	10,409	13.8%	▲ 50,845	▲ 37.2%
	日 帰 客	77,933	91.0%	68,737	91.3%	124,668	91.3%	9,196	13.4%	▲ 46,735	▲ 37.5%
	宿 泊 客	7,730	9.0%	6,517	8.7%	11,840	8.7%	1,213	18.6%	▲ 4,110	▲ 34.7%
神 戸	総入込数	14,180	100.0%	12,543	100.0%	35,420	100.0%	1,637	13.1%	▲ 21,240	▲ 60.0%
	日 帰 客	11,455	80.8%	10,223	81.5%	30,650	86.5%	1,232	12.1%	▲ 19,195	▲ 62.6%
	宿 泊 客	2,725	19.2%	2,320	18.5%	4,770	13.5%	405	17.5%	▲ 2,045	▲ 42.9%
阪神南	総入込数	9,493	100.0%	7,895	100.0%	14,727	100.0%	1,598	20.2%	▲ 5,234	▲ 35.5%
	日 帰 客	9,020	95.0%	7,470	94.6%	14,036	95.3%	1,550	20.7%	▲ 5,016	▲ 35.7%
	宿 泊 客	473	5.0%	425	5.4%	691	4.7%	48	11.3%	▲ 218	▲ 31.5%
阪神北	総入込数	14,961	100.0%	12,401	100.0%	18,935	100.0%	2,560	20.6%	▲ 3,974	▲ 21.0%
	日 帰 客	14,707	98.3%	12,168	98.1%	18,567	98.1%	2,539	20.9%	▲ 3,860	▲ 20.8%
	宿 泊 客	254	1.7%	233	1.9%	368	1.9%	21	9.0%	▲ 114	▲ 31.0%
東播磨	総入込数	6,232	100.0%	6,151	100.0%	9,848	100.0%	81	1.3%	▲ 3,616	▲ 36.7%
	日 帰 客	5,832	93.6%	5,813	94.5%	9,372	95.2%	19	0.3%	▲ 3,540	▲ 37.8%
	宿 泊 客	400	6.4%	338	5.5%	476	4.8%	62	18.3%	▲ 76	▲ 16.0%
北播磨	総入込数	11,396	100.0%	10,809	100.0%	13,941	100.0%	587	5.4%	▲ 2,545	▲ 18.3%
	日 帰 客	11,032	96.8%	10,484	97.0%	13,383	96.0%	548	5.2%	▲ 2,351	▲ 17.6%
	宿 泊 客	364	3.2%	325	3.0%	558	4.0%	39	12.0%	▲ 194	▲ 34.8%
中播磨	総入込数	5,412	100.0%	4,300	100.0%	10,366	100.0%	1,112	25.9%	▲ 4,954	▲ 47.8%
	日 帰 客	4,706	87.0%	3,806	88.5%	9,385	90.5%	900	23.6%	▲ 4,679	▲ 49.9%
	宿 泊 客	706	13.0%	494	11.5%	981	9.5%	212	42.9%	▲ 275	▲ 28.0%
西播磨	総入込数	4,277	100.0%	3,697	100.0%	6,187	100.0%	580	15.7%	▲ 1,910	▲ 30.9%
	日 帰 客	3,783	88.4%	3,265	88.3%	5,566	90.0%	518	15.9%	▲ 1,783	▲ 32.0%
	宿 泊 客	494	11.6%	432	11.7%	621	10.0%	62	14.4%	▲ 127	▲ 20.5%
但 馬	総入込数	6,056	100.0%	5,779	100.0%	9,409	100.0%	277	4.8%	▲ 3,353	▲ 35.6%
	日 帰 客	4,902	80.9%	4,718	81.6%	7,489	79.6%	184	3.9%	▲ 2,587	▲ 34.5%
	宿 泊 客	1,154	19.1%	1,061	18.4%	1,920	20.4%	93	8.8%	▲ 766	▲ 39.9%
丹 波	総入込数	4,069	100.0%	3,634	100.0%	5,072	100.0%	435	12.0%	▲ 1,003	▲ 19.8%
	日 帰 客	3,891	95.6%	3,494	96.1%	4,858	95.8%	397	11.4%	▲ 967	▲ 19.9%
	宿 泊 客	178	4.4%	140	3.9%	214	4.2%	38	27.1%	▲ 36	▲ 16.8%
淡 路	総入込数	9,588	100.0%	8,043	100.0%	12,603	100.0%	1,545	19.2%	▲ 3,015	▲ 23.9%
	日 帰 客	8,606	89.8%	7,296	90.7%	11,362	90.2%	1,310	18.0%	▲ 2,756	▲ 24.3%
	宿 泊 客	982	10.2%	747	9.3%	1,241	9.8%	235	31.5%	▲ 259	▲ 20.9%

(3) 目的別の入込状況

目的別として多い順に、①スポーツ・レクリエーション、②歴史・文化、③都市型観光となった。公園施設を含むスポーツ・レクリエーション及び歴史・文化は大幅増となった一方、自然及び都市型観光は微増に留まった。

(単位:千人)

目的	令和3年度		令和2年度		令和元年度		対前年度 増減	対前年度 比	対令和元年度 増減	対令和元年度 比
	入込客数	全体比	入込客数	全体比	入込客数	全体比				
総入込客数	85,663	100.0%	75,254	100.0%	136,508	100.0%	10,409	13.8%	▲ 50,845	▲ 37.2%
自 然	1,960	2.3%	1,863	2.5%	2,848	2.1%	97	5.2%	▲ 888	▲ 31.2%
歴 史 ・ 文 化	19,791	23.1%	16,394	21.8%	29,456	21.6%	3,397	20.7%	▲ 9,665	▲ 32.8%
温 泉 ・ 健 康	4,948	5.8%	4,551	6.0%	6,792	5.0%	397	8.7%	▲ 1,844	▲ 27.1%
ス ポ ー ツ ・ レ ク リ エ ー シ ョ ン	30,467	35.6%	27,189	36.1%	36,626	26.8%	3,278	12.1%	▲ 6,159	▲ 16.8%
都 市 型 観 光	12,938	15.1%	12,909	17.2%	20,064	14.7%	29	0.2%	▲ 7,126	▲ 35.5%
そ の 他 (道 の 駅 等)	10,656	12.4%	9,908	13.2%	15,117	11.1%	748	7.5%	▲ 4,461	▲ 29.5%
行 祭 事 ・ イ ベ ン ト	4,901	5.7%	2,440	3.2%	25,605	18.7%	2,461	100.9%	▲ 20,704	▲ 80.9%

(単位：千人)

区 分	全県	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路
総 入 込 客 数	85,663	14,180	9,493	14,961	6,232	11,396	5,412	4,277	6,056	4,069	9,588
自 然	1,960	266	57	144	100	269	396	126	266	44	292
歴 史 ・ 文 化	19,791	1,703	3,924	4,522	1,972	807	1,612	417	1,339	431	3,064
温 泉 ・ 健 康	4,948	118	0	727	140	517	304	640	1,489	232	781
ス ポ ー ツ ・ レ ク リ エ ー シ ョ ン	30,467	1,275	3,521	6,215	3,107	7,033	1,763	1,571	1,177	1,397	3,408
都 市 型 観 光	12,938	8,411	0	564	633	652	276	39	240	1,410	713
そ の 他 (道 の 駅 等)	10,656	385	305	2,690	242	2,049	576	1,271	1,514	378	1,246
行 祭 事 ・ イ ベ ン ト	4,901	2,020	1,686	99	38	69	485	213	31	177	84

(4) 四季別の入込状況

まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が発出された夏（7月～9月）は前年度比同程度にとどまったが、その他の季節では大幅に増加した。

(単位：千人)

四季	令和3年度入込客数		令和2年度入込客数		令和元年度入込客数		対前年度 増減	対前年度 比	対令和元年度 増減	対令和元年度 比
	入込客数	全体比	入込客数	全体比	入込客数	全体比				
総 入 込 客 数	85,663	100.0%	75,254	100.0%	136,508	100.0%	10,409	13.8%	▲ 50,845	▲ 37.2%
春(4月～6月)	15,881	18.5%	11,181	14.9%	35,322	25.9%	4,700	42.0%	▲ 19,441	▲ 55.0%
夏(7月～9月)	20,625	24.1%	20,625	27.4%	33,710	24.7%	0	0.0%	▲ 13,085	▲ 38.8%
秋(10月～12月)	24,387	28.5%	22,249	29.6%	35,495	26.0%	2,138	9.6%	▲ 11,108	▲ 31.3%
冬(1月～3月)	24,771	28.9%	21,199	28.2%	31,981	23.4%	3,572	16.8%	▲ 7,210	▲ 22.5%

(単位：千人)

区 分	全県	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路
総 入 込 客 数	85,663	14,180	9,493	14,961	6,232	11,396	5,412	4,277	6,056	4,069	9,588
春(4月～6月)	15,881	2,100	1,755	3,040	1,310	2,609	832	823	936	848	1,628
夏(7月～9月)	20,625	3,388	2,009	3,432	1,465	2,968	1,314	1,070	1,564	975	2,441
秋(10月～12月)	24,387	4,194	2,044	3,937	1,613	3,172	1,765	1,283	1,825	1,554	3,000
冬(1月～3月)	24,771	4,499	3,685	4,552	1,844	2,647	1,501	1,101	1,731	692	2,519

(5) 主要観光施設への入込客数（社寺参拝・イベント・非公表施設等を除く）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年度に引き続いて、人の密集が生じにくい屋外施設が上位となった。

令和3年度上位10施設

(単位：千人)

順位	観光施設名	入込客数
1	明石公園 (明石市)	1,993
2	宝塚北サピエリア (宝塚市)	1,660
3	甲山森林公園 (西宮市)	1,313
4	阪神甲子園球場 (西宮市)	1,139
5	フルーツ・フラワーパーク (神戸市)	1,092
6	三木総合防災公園 (三木市)	1,052
7	淡路ハイウェイアジス (淡路市)	973
8	有馬富士公園 (三田市)	820
9	王子動物園 (神戸市)	739
10	県立淡路島公園 (淡路市)	731

令和2年度上位10施設

(単位：千人)

順位	観光施設名	入込客数
1	明石公園 (明石市)	1,946
2	甲山森林公園 (西宮市)	1,468
3	宝塚北サピエリア (宝塚市)	1,426
4	フルーツ・フラワーパーク (神戸市)	1,010
5	三木総合防災公園 (三木市)	888
6	淡路ハイウェイアジス (淡路市)	878
7	有馬富士公園 (三田市)	774
8	道の駅とうじょう (加東市)	651
9	王子動物園 (神戸市)	646
10	伊丹スカイパーク (伊丹市)	635

令和元年度上位10施設

(単位：千人)

順位	観光施設名	入込客数
1	阪神甲子園球場 (西宮市)	3,836
2	明石公園 (明石市)	3,136
3	宝塚北サピエリア (宝塚市)	2,625
4	淡路ハイウェイアジス (淡路市)	1,550
5	姫路城 (姫路市)	1,548
6	フルーツ・フラワーパーク (神戸市)	1,275
7	北野工房のまち (神戸市)	1,213
8	須磨海浜水族園 (神戸市)	1,135
9	王子動物園 (神戸市)	1,109
10	三木総合防災公園 (三木市)	1,074

2 経済波及効果等

(1) 県内観光消費額・観光産業県内総生産

令和3年度県内観光消費額(名目)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により 8,233 億円(+31.5%)、観光産業の付加価値額である観光産業県内総生産(名目)は 4,548 億円(+31.1%)である。

感染拡大防止と社会経済活動の両立が図られ「ひょうごを旅しようキャンペーン」等の需要喚起策等の影響で、観光消費額は増加した。

また、物価変動を除いた観光産業県内総生産(実質)は、4,485 億円(+31.4%)、これは、実質県内総生産比 2.0%である。

(単位：億円)

<区分>	県内観光消費額(名目) (※1)	観光産業県内総生産(※2)		県内総生産 (実質)(B)	県内総生産(実質)比 (C=A/B) (%)
		名目	実質(A)		
令和3年度	8,233	4,548	4,485	219,994	2.0
令和2年度	6,260	3,470	3,414	213,978	1.6
令和元年度	12,312	6,985	6,882	221,127	3.1
対前年度比(%)	+31.5%	+31.1%	+31.4%	+2.8%	-
対令和元年度比(%)	▲33.1%	▲34.9%	▲34.8%	▲0.5%	-

(出典)：兵庫県統計課「兵庫県民経済計算」、兵庫県観光振興課「兵庫県観光客動態調査」、観光庁「旅行・観光消費動向調査」の単価等を用いて推計

- ※1 観光消費額 = 観光客数 × 観光消費単価(交通費、宿泊費、飲食費、買物代、その他)
 ※2 観光産業県内総生産 = 観光消費額 × 付加価値比率(兵庫県統計課「兵庫県民経済計算」に基づく)
 (名目) 実際に市場で取引されている価格(市場価格)に基づいて推計された値
 (実質) 基準年次(平成27年:R4年1月改定)からの物価の変動分(上昇・下落)を名目値から取り除いた値

(2) 県内観光消費額の経済波及効果概要

「平成27年兵庫県産業連関表」をもとに推計した結果、県内観光消費額(8,233 億円)にかかる経済波及効果(生産誘発額)は、1兆2,068 億円(+31.6%)、県内観光消費により新たに生み出された付加価値誘発額は、6,702 億円(+32.0%)、創出された就業者誘発数は、140 千人(+32.0%)となった。

兵庫県内観光消費額の経済波及効果概要

(単位：億円、人)

項目	令和3年度	令和2年度	令和元年度	対前年度比(%)	対令和元年度比(%)	備考
経済波及効果(生産誘発額)	12,068	9,173	18,100	31.6	▲33.3	経済効果(売上額の合計)
直接効果	8,233	6,260	12,312	31.5	▲33.1	観光消費額(実観光客数×消費単価)
間接効果	3,835	2,913	5,788	31.7	▲33.7	原材料、消費支出から誘発効果
付加価値誘発額(GDP相当)	6,702	5,078	10,071	32.0	▲33.4	(売上額-経費等)の合計
就業者誘発数	140,162	106,182	207,895	32.0	▲32.6	就業者(個人業主、雇業者等)に換算

- ※ 兵庫県統計課「平成27年兵庫県産業連関表」を用いて推計
 ※ 経済波及効果(=直接効果+間接効果)
 ・直接効果：県内観光消費額
 ・間接効果：産業連関分析により経済波及効果を推計

(注) 端数処理のため、資料中の表の内訳と合計は必ずしも一致しません。

< 参考資料 1 >

地域別主要施設・イベントの入込状況

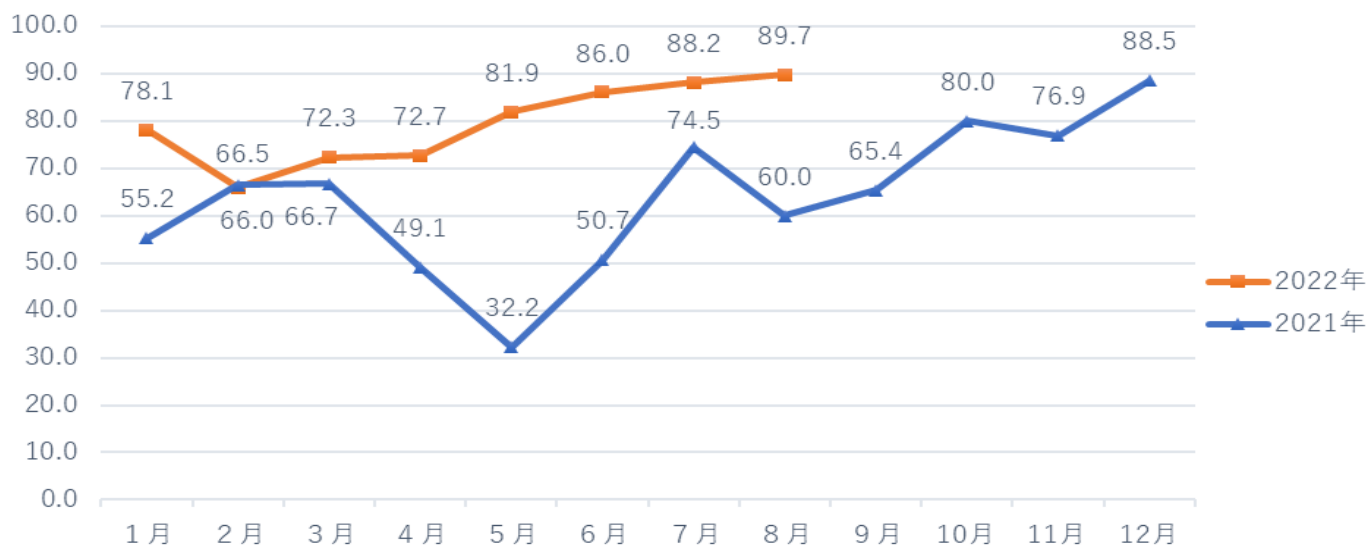
(単位:千人)

地域別	観光地・イベント名	令和3年度	令和2年度	令和元年度	対前年度増減	対前年度比	対令和元年度増減	対令和元年度比
神戸	フルーツ・フラワーパーク	1,092	1,010	1,275	82	8.1%	▲ 183	▲ 14.4%
	風見鶏の館	72	60	236	12	20.0%	▲ 164	▲ 69.5%
	王子動物園	739	646	1,109	93	14.4%	▲ 370	▲ 33.4%
	有馬温泉(金の湯等)	396	363	673	33	9.1%	▲ 277	▲ 41.2%
阪神南	阪神甲子園球場	1,139	531	3,836	608	114.5%	▲ 2697	▲ 70.3%
	尼崎城	38	32	211	6	18.8%	▲ 173	▲ 82.0%
	西宮神社	1,970	1,595	2,283	375	23.5%	▲ 313	▲ 13.7%
	廣田神社	569	502	565	67	13.3%	4	0.7%
阪神北	道の駅いながわ	579	568	628	11	1.9%	▲ 49	▲ 7.8%
	宝塚北サービスエリア	1,660	1,426	2,625	234	16.4%	▲ 965	▲ 36.8%
	有馬富士公園	820	774	774	46	5.9%	46	5.9%
	伊丹スカイパーク	642	635	682	7	1.1%	▲ 40	▲ 5.9%
東播磨	明石公園	1,993	1,946	3,136	47	2.4%	▲ 1143	▲ 36.4%
	八幡神社	235	234	235	1	0.4%	0	0.0%
	高砂市総合運動公園	137	101	160	36	35.6%	▲ 23	▲ 14.4%
	大中遺跡	143	129	196	14	10.9%	▲ 53	▲ 27.0%
北播磨	東条湖おもちゃ王国	202	184	424	18	9.8%	▲ 222	▲ 52.4%
	三木総合防災公園	1,052	888	1,074	164	18.5%	▲ 22	▲ 2.0%
	三木山森林公園	577	513	573	64	12.5%	4	0.7%
	道の駅とうじょう	655	651	675	4	0.6%	▲ 20	▲ 3.0%
中播磨	姫路城	444	390	1,548	54	13.8%	▲ 1104	▲ 71.3%
	砥峰高原	111	109	80	2	1.8%	31	38.8%
	好古園	164	130	428	34	26.2%	▲ 264	▲ 61.7%
	アクリエひめじ	188	-	-	皆増	皆増	皆増	皆増
西播磨	赤穂温泉	157	111	228	46	41.4%	▲ 71	▲ 31.1%
	揖保乃糸資料館 田うめんの里	61	65	98	▲ 4	▲ 6.2%	▲ 37	▲ 37.8%
	道の駅みつ	297	278	300	19	6.8%	▲ 3	▲ 1.0%
	ちくさ高原スキー場	75	40	19	21	87.5%	56	294.7%
但馬	城崎温泉外湯めぐり	501	448	827	53	11.8%	▲ 326	▲ 39.4%
	湯村温泉	109	106	183	3	2.8%	▲ 74	▲ 40.4%
	県立但馬牧場公園	151	97	143	54	55.7%	8	5.6%
	神鍋高原スキー場	140	108	23	32	29.6%	117	508.7%
丹波	丹波の森公苑	133	83	236	50	60.2%	▲ 103	▲ 43.6%
	兵庫陶芸美術館	113	51	114	62	121.6%	▲ 1	▲ 0.9%
	水分れ公園	56	23	23	33	143.5%	33	143.5%
	丹波年輪の里	146	124	162	22	17.7%	▲ 16	▲ 9.9%
淡路	伊弉諾神宮	2,156	1,778	2,010	378	21.3%	146	7.3%
	淡路ハイウェイオアシス	973	878	1,550	95	10.8%	▲ 577	▲ 37.2%
	洲本温泉	401	306	481	95	31.0%	▲ 80	▲ 16.6%
	淡路島公園	731	598	636	133	22.2%	95	14.9%

< 参考資料 2 >

主要観光施設(※)の入込客数の対2019年比（月別）

2022年の主要観光施設における観光入込客数の2019年同月比は、ほぼ同水準であった2月を除くすべての月で2021(R3)年同比を上回っており、昨年以上の回復傾向が見られる。



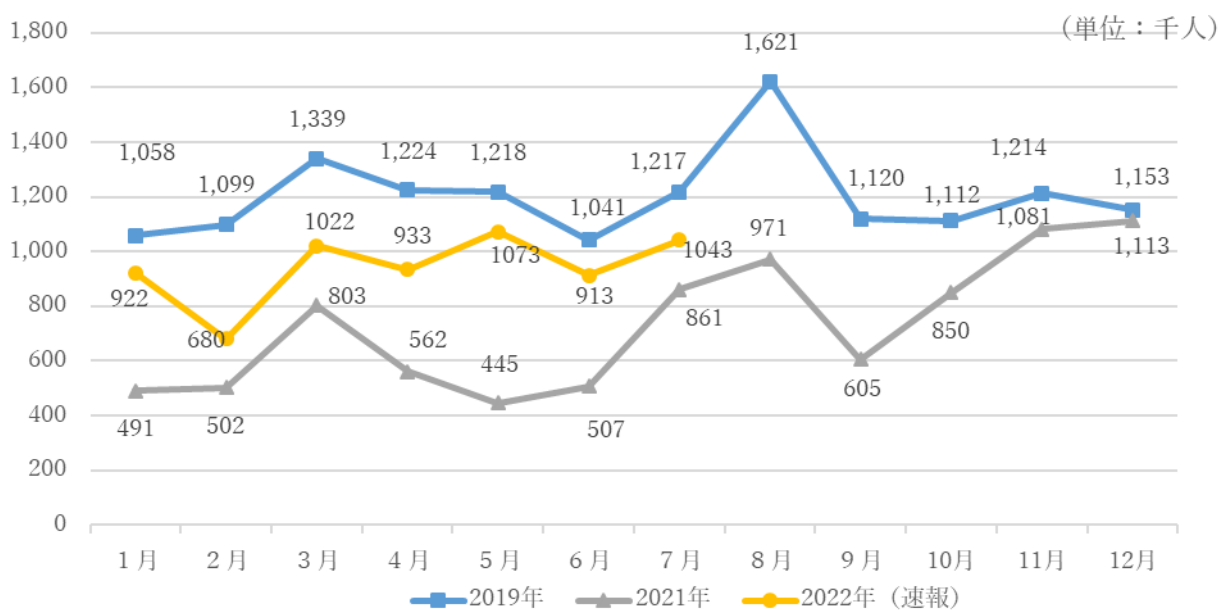
出典：兵庫県調べ ※地域毎の主要観光施設（約60地点）を調査

< 参考資料 3 >

県内延べ宿泊者数の推移（月別）

2021(R3)年は、緊急事態宣言が発令された4月、5月、9月は前月より落ち込んだものの、その他の月は需要喚起策が効を奏して回復傾向にあった。

2022(R4)年はコロナ前の2019(R1)年比約9割弱の水準で推移している。



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」より作成

令和3年度 赤穂市観光客動態調査報告書

発行 (一社) あこう魅力発信基地・赤穂市
